

## 一般廃棄物処理 長期広域化計画

# ゴミの処理は、再資源化など 量を減らすことを基本に据えるべき

県は9月補正で「一般廃棄物処理長期広域化計画策定事業」の予算を計上し、「長期広域・集約化計画」を策定する、としています。しかし「広域化」は、輸送が長距離になりエネルギー効率が悪くなるとともに、事業をPFIで進めることも記載されており、民間企業にもうけの場を提供するものとなるのは明らかです。しかも処理の高度化によって自治体負担が増大すれば、ゴミ処理費用の有料化が広がらない保証はありません。日本共産党は、本来ゴミ処理は、再資源化や製造段階からゴミの量そのものを減らすことを基本に据えるべき、と主張して反対しました。

## 大阪万博 に出展

# 国負担の増額や建設現場でメタンガス爆発 あまりに問題が多すぎると、反対しました

県は、補正予算に「発酵」をテーマにした大阪万博への出展費用を組みました。千葉県が発酵文化などを全国で紹介することは奨励されることです。しかし「大阪関西万博」の関連経費を含む総費用は1兆2千億円にのぼります。国負担分は当初より1000億円も増え、千葉県民の税金も使われます。3月には会場建設現場でメタンガスの爆発事故が起き、安全性が心配です。それでも突き進むのは、万博が大阪の夢洲に誘致が決まっているカジノを軸にした統合型リゾート—IRの基盤整備を公費でやるためだ、との指摘もあります。万博の開催中止を求める署名は10万人を超えました。万博への出展は千葉県の文化や産業を紹介する場として、ふさわしいとはいえません。



討論する丸山慎一県議

## 9月県議会 10月9日に閉会 見過ごせない問題点を討論で指摘しました



加藤 英雄  
(柏市)  
総務防災常任委員



丸山 慎一  
(船橋市)  
県土整備常任委員



みわ 由美  
(松戸市)  
健康福祉常任委員



浅野ふみ子  
(市川市)  
文教常任委員

## 北千葉 道路

渋滞、国際競争力  
など具体的な根拠  
示せません

北千葉道路の橋梁工事契約議案が提出されました。こうした道路ができれば平行する道路の渋滞はある程度減ります。しかし、別の場所に渋滞が移る可能性もあります。どこの渋滞がどのくらい解消するのか、全線に関する答えはありませんでした。北千葉道路の目的の一つである国際競争力の向上についても、どんな競争力がどのくらい向上するのか、明確な答弁はなく、供用開始の時期や総事業費などもまったく不明のままです。今後は、人口減少が見込まれ、交通量も大幅に減るのは明らかですが、その渋滞のシミュレーションは答えられません。目の前の状況だけを見て、遮二無二、高規格道路の建設に進めば、福祉などの予算にしわ寄せされます。日本共産党は「税金は暮らしや福祉を最優先に」と反対しました。

# 日本共産党

Japanese Communist Party

日本共産党千葉県議会だより 2024年10月16日号 ☎043(223)2544